全附Ｐ連 令和８年度 附属学校・ＰＴＡ活動 情報紹介シート

所属学校名	鳴門教育大学附属小学校		
役　職	はぐくみ保護者会会長	氏　名	大田　仁大
活動名称	創立 150 周年事業		

鳴門教育大学附属小学校は、令和 7 年度に創立 150 周年という大きな節目を迎えました。この記念すべき年を迎えるにあたり、学校・同窓会・保護者会が連携し、企画会議を重ねながら、子どもたちの心に残る記念事業を検討してまいりました。

その結果、創立 150 周年記念事業として、以下の 2 つの事業を実施いたしましたので、ご報告いたします。

1. 創立 150 周年記念式典の開催

鳴門教育大学附属小学校の体育館に、久しぶりに全校児童が一堂に会し、創立 150 周年記念式典を開催しました。

式典では、ご来賓の皆様からお祝いのお言葉をいただいたほか、鳴門教育大学大学院を修了された、徳島県在住の児童文学作家・くすのき　しげのり先生をお招きし、全校児童に向けて記念講演をしていただきました。

150 年にわたる学校の歴史と伝統を振り返るとともに、未来へとつながる新たな一歩を踏み出す、記念すべき式典となりました。

2. 子どもたちの思いを形にした「はぐくみひろば」の誕生

創立 150 周年記念事業の一つとして、使われなくなっていたウサギの飼育小屋を撤去し、子どもたちが自由に集い、さまざまな活動に活用できる新たなスペース「はぐくみひろば」を整備しました。

整備にあたっては、夏休みに全校児童からデザインを募集したところ、151 点もの作品が寄せられました。

子どもたちのアイデアを形にするため、鳴門教育大学でデザインを専門とされる内藤隆教授にご協力いただき、応募作品に込められた色や形、さまざまな発想を取り入れ、一つのデザインにまとめていただきました。

完成したデザインには、応募作品に多く見られた虹や緑、花などのモチーフが取り入れられています。また、二重の虹には「FUZOKU」の文字があしらわれ、かつてウサギの飼育小屋があった場所であることを大切にし、左右には 2 羽のウサギが描かれています。

施工には多くの保護者達が集まり、合計 1,110 枚ものシートを一枚一枚丁寧に敷き詰め、「はぐくみひろば」が完成しました。

同窓会のご支援のもと、子どもたちが考えたデザインを大学の先生が形にし、保護者が力を合わせて完成させた「はぐくみひろば」。かつての飼育小屋で育まれた命との思い出も大切にしながら、みんなの思いが詰まった新しい場所へと生まれ変わりました。

これから、この「はぐくみひろば」で子どもたちが友達と語り合い、遊び、さまざまな活動を通して、たくさんの思い出をつくってくれることを願っています。

創立 150 周年という節目に、学校・大学・同窓会・保護者、そして何より子どもたちの思いが一つになって生まれたこの場所が、次の時代へと受け継がれる附属小学校の新たな活動の場となることを期待しています。

「はぐくみひろば」完成までの動画　https://www.youtube.com/watch?v=hKJCB2rqtWA